



とぎ保育園の園児と志賀消防署富来分署職員が 豆まきで「火遊びはしません」と約束



2月3日(月)、志賀消防署富来分署の防火豆まきが、とぎ保育園で行われ、園児43人が火遊びを誘う鬼に、新聞紙を丸めて作った豆を投げつけて追い払いました。

鬼にふんした署員が現れると、園児はおびえながらも「鬼は外、福は内」と大きな声を出して立ち向かいました。防火に関する〇×クイズもあり、園児は「火遊びはしません」と約束しました。

志賀・富来中学校2年生 104人

立志式で大人への自覚を深める



2月14日(金)、志賀・富来中学校の2年生104人は、志賀中学校で立志式を行い、大人になる自覚を深めました。生徒を代表し、中祢 祈さん(富来中)が誓いのことばを述べました。宮本 大希さん(志賀中)と新谷 奈南さん(富来中)が作文を発表しました。

また生徒全員が、20歳の自分に宛てた手紙をタイムカプセルに投函しました。

講演会では、町出身の理学療法士・岡田 康平さんが「挑戦することの意義」と題し、記念講演をしました。



1月26日は「文化財防火デー」 文化財を火災から守る訓練を実施



1月26日(日)、「文化財防火デー」当日に鹿頭の常德寺、末吉の西来寺で、それぞれ火災防ぎょ訓練が行われました。

消防署員や消防団員のほか、地元の自警団も参加して訓練が行われ、出火の発見、通報、消火といった全体の流れを確認しながら、迅速な消火活動を行いました。



被災した富来B & G海洋センターの復旧に向け B & G財団が3,000万円助成



被災した富来B & G海洋センターの復旧に向け、B & G財団(東京)が工事費用として町に3,000万円を助成するとして、1月31日(金)、町役場で助成決定書授与式が行われ、菅原 悟志理事長が稲岡町長に決定通知書を手渡しました。

同センターは温水プールやトレーニングルームなどを備え、町民の健康づくりの場として活用されてきました。今回の助成金を活用し、震災で崩落した玄関屋根や破損した給排水設備、プールの傾きなどの復旧工事を実施します。



羽咋市を発着点に志賀町、輪島門前、穴水町、七尾市を走る 「能登の国ジャーニーラン」町に支援金を贈呈

羽咋市を発着点に志賀町、輪島門前、穴水町、七尾市を走る「能登の国ジャーニーラン」の第1回大会が、昨年10月に被災地支援として実施され、県内外から218人の参加者が能登路を駆け抜けました。

2月13日(木)、能登の国ジャーニーランナーズクラブの松田 和也代表が稲岡町長を訪ね、昨年大会の協力に感謝し、支援金217,000円を贈りました。

松田代表は、今年も10月4、5日に大会を開催することを報告し「今年も復興に向かう能登を見てもらい、元気を発信したい」と話しました。



町の住民サービス向上に向けDX推進専門家を委嘱 デジタルフェロー委嘱状交付式



2月12日(水)、行政や教育のDXを進めるため、町デジタルフェローに東京都立大学 客員教授の陣内 裕樹氏(写真中央右)、町教育DXフェローに大阪教育大学 客員教授の小出 泰久氏(写真左)を委嘱しました。2人は今後、DX促進のための職員向け研修やアドバイス、教員や教育のDX支援に取り組みます。

元富来小学校校長の畠山 涼子さんが自費出版 絵本「すももなったら」を町に寄贈



元富来小学校校長の畠山 涼子さんが実話を基にした絵本「すももなったら」を自費出版し、絵を手がけた志賀町立図書館元職員の藤井 裕子さんと1月31日(金)に稲岡町長を訪ね、絵本を寄贈しました。絵本は富来小学校の男子と見守り隊の交流を描いています。絵本は、町内小学校や町図書館に置かれ、閲覧することができます。

急な停電によるデータ破損を防いだり、非常時の蓄電池として利用 無停電電源装置(UPS)を(株)白山が寄贈

1月31日(金)、(株)白山は、無停電電源装置(UPS)5台を町に寄贈しました。UPSは、急な停電でもパソコンやハードディスクなどの機器に給電を続け、データ破損を防ぎます。また非常時には、電源がない場でも蓄電池として利用できます。寄贈されたUPSは、非常時に給電が必要な施設を優先して設置しました。



いつまでもお元気でお過ごしください



若い頃の好子さん

末吉の谷 好子さんが100歳

末吉の谷 好子さんが1月27日(月)に100歳を迎えました。長男の勇さんは「母が若い頃は、父がゼロ戦作りに携わっていたこともあり東京で生活していたが、終戦後は末吉に戻り、田んぼや畑、山仕事をしながら私たち4人を育て、孫の子守りもしてくれた。当時は今ほど物が十分でない中で、家で食べる芋類や菜葉類、豆類などを工夫しながら栽培し、中でも難しいとされる小豆作りが上手な人だった。農作業ひとつで今まで頑張ってきた人だ」と話しました。

福浦港の寺尾 百合子さんが100歳

福浦港の寺尾 百合子さんが2月14日(金)に100歳を迎えました。百合子さんは「本が好きなので、昔読んだ本を読み返したり、編み物をして毎日過ごしている」と話しました。

長男の杉太郎さんは「母は元教員で、福浦小学校に通算40年ほど勤務していた。今でも母は「先生」と呼ばれると「はい」と返事をする。母は長生きしてくれたが、父は約40年前に亡くなり、母1人で頑張ってきた。」と話しました。

民生・児童委員の加藤 勇雄さんや松山 万里子さんもお祝いに駆け付けました。



自宅で稲岡町長、家族、民生委員から祝福を受ける百合子さん